

AMSD 結果からの問題点抽出法とアプローチの立案法(重症例編-残存能力の活用を目指して) by Shin

1. AMSD 結果からの問題点のまとめ方

0でない項目	機能の肯定面(3:ほぼ残存 2:かなり残存 1:ある程度残存)	活動の肯定面(3:ほぼ残存 2:かなり残存 1:ある程度残存)
呼吸数・最長呼気持続時間・呼気圧持続時間	#呼吸機能残存	#発声のための呼気生成可能 #スイッチ操作可能
最長発声持続時間(男≦女)・/a/の交互反復(男≦女)	#発声機能残存	#発声可能 #聞き取れる程度の声が出せる #Yes-No 反応可能 #スイッチ操作可能
/a/発声時の視診(男≦女)・ブローイング時の鼻漏出(男≦女)・/a/発声時の鼻漏出(男≦女)	#鼻咽腔閉鎖機能残存	#口腔音生成可能
舌の突出・舌の左右移動・前舌の挙上・奥舌の挙上・舌の突出後退・舌の左右移動(交互反復)・/ta/の交互反復・/ka/の交互反復・舌の突出(筋力)・舌面の挙上(筋力) ※交互反復は男≦女	#舌運動機能残存	#舌音生成可能 #スイッチ操作可能
口唇の閉鎖(男≦女)・口唇を引く・口唇の突出・口唇の閉鎖(筋力)	#口唇運動機能残存	#両唇音生成可能 #口唇閉鎖可能 #物品操作可能 #スイッチ操作可能 #Yes-No 反応可能
下顎の下制・下顎の挙上・下顎の下制(筋力)・下顎の挙上(筋力) - 保持されやすい	#下顎運動機能残存	#閉口可能 #物品操作可能 #スイッチ操作可能 #Yes-No 反応可能
全ての項目	総合的な残存機能(記述しない)	#話題を知っていれば会話が分かる #わずかでも分かる会話がある #伝えたいことがあるのがわかる
AMSD 以外の観察や評価1:上下肢の機能	#両上肢あるいは片側上肢機能残存 #両下肢あるいは片側上肢機能残存	#物品操作可能 #ポインティング可能 #スイッチ操作可能 #Yes-No 反応可能
AMSD 以外の観察や評価2:頭頸部の機能	#頭部の上下運動機能残存 #頭部の左右運動機能残存	#スイッチ操作可能 #Yes-No 反応可能
AMSD 以外の観察や評価3:上部顔面の機能	#表情筋運動機能残存 #前頭筋機能残存 #皺眉筋機能残存	#スイッチ操作可能 #Yes-No 反応可能
AMSD 以外の観察や評価4:眼の機能	#瞬目機能残存 #眼球運動機能残存	#スイッチ操作可能 #Yes-No 反応可能
AMSD 以外の観察や評価5:その他の機能	#括約筋機能残存	#スイッチ操作可能 #Yes-No 反応可能

⑧注意点

- 1)機能面の肯定面は主に発声発語器官検査を、活動面の肯定面は発話特徴の聴覚印象検査を参考にして抽出する。
- 2)各項目の成績から機能面の肯定的側面を推測し、発話特徴である活動面の肯定的側面が機能面と対応しているか確認する。機能面→活動面、活動面→機能面と双方向から矛盾がないか確認し、発声発語器官検査と発話特徴の聴覚印象の測定法が妥当だったか考察すること。

⑨参加の肯定的側面の例

- ・業種転換による職場復帰可能・復学可能・地域社会での役割の継続可能・実用コミュニケーション可能・家族とのコミュニケーション可能

⑩個人因子の肯定的側面の例

- ・強いコミュニケーション意欲・地域活動への意欲・正月までに家に帰りたいという希望・仕事を続けたいという希望

⑪環境因子の肯定的側面の例

- ・家族の積極的な協力・家族の本人との強いコミュニケーション意欲・パソコンの使用可能な環境

2. 目標の具体例

1 長期目標

1) 活動制限に対する最終目標例

・AAC併用で実用レベルのコミュニケーション能力の獲得・AACによる実用レベルのコミュニケーション能力の獲得・家族とのコミュニケーションの継続

2) 参加制約に対する最終目標例

・復学可能なレベルのコミュニケーション能力の再獲得・家庭でのコミュニケーション能力の再獲得・地域社会での活動が可能なレベルのコミュニケーション能力の再獲得

2 短期目標(具体的な数値を挙げる)

1) 機能面に対する短期目標例

0でない項目	機能の肯定面(3:ほぼ残存 2:かなり残存 1:ある程度残存)	短期目標例
呼吸数・最長呼気持続時間・呼気圧持続時間	#呼吸機能残存	・最長呼気持続時間延長(3秒以上等) ・呼気圧持続時間増大(5cm ³ ×2秒以上等)
最長発声持続時間・/a/の交互反復	#発声機能残存	・最長発声持続時間延長(3秒以上等) ・/a/交互反復速度向上または維持(2.0回/3秒以上等)
/a/発声時の視診・ブローイング時の鼻漏出・/a/発声時の鼻漏出	#鼻咽腔閉鎖機能残存	・ブローイング時の鼻漏出軽減(左右4度等) ・/a/発声時の鼻漏出軽減(左右4度等) ・シースケープで1目盛の向上等
舌の突出・舌の左右移動・前舌の挙上・奥舌の挙上・舌の突出後退・舌の左右移動(交互反復)・/ta/の交互反復・/ka/の交互反復・舌の突出(筋力)・舌面の挙上(筋力)	#舌運動残存	・舌の運動範囲向上または維持 (・歯列まで舌突出・左右口角から5mm以内に舌が達する・舌面が口蓋に接近する・奥舌が軟口蓋に接近する等) ・舌の交互反復運動速度向上または維持 (・舌の突出後退0.5回/秒以上・舌の左右移動0.5回/秒以上等) ・ディアドコネシス速度の向上または維持(/ta/の交互反復運動で1.0回/秒以上・/ka/の交互反復運動で1.0回/秒以上) ・舌の筋力増大 (・自力での舌運動可能等) ・非言語的課題での舌運動の改善 (・舌の突出後退0.5回/秒以上・舌の左右移動0.5回/秒以上等)
口唇の閉鎖・口唇を引く・口唇の突出・口唇の閉鎖(筋力)	#口唇運動残存	・口唇の運動範囲向上または維持 (・口唇を5mm以上引く・口唇を対称的に引く・口唇を5mm以上突出する等) ・口唇の交互反復運動速度向上または維持(口唇の引き突出0.2回/秒以上等) ・口唇の筋力増大(自力での口唇完全閉鎖等) ・非言語的課題での口唇運動の改善 (・口唇の引き突出0.5回/秒以上等)
下顎の下制・下顎の挙上・下顎の下制(筋力)・下顎の挙上(筋力) - 保持されやすい	#下顎運動残存	・下顎の運動範囲向上または維持 (・開口15mm以上・自力での閉口等) ・下顎の筋力増大 (・自力での完全閉口等) ・非言語的課題での下顎運動の改善 (・下顎の挙上下制0.5回/秒等)
AMSD以外の観察や評価1:上下肢の機能	#両上肢あるいは片側上肢機能残存 #両下肢あるいは片側上肢機能残存	・上肢機能の向上または維持
AMSD以外の観察や評価2:頭頸部の機能	#頭部の上下運動機能残存 #頭部の左右運動機能残存	・頭頸部の機能の向上または維持
AMSD以外の観察や評価3:上部顔面の機能	#表情筋運動機能残存 #前頭筋機能残存 #皺眉筋機能残存	・上部顔面の機能向上または維持
AMSD以外の観察や評価4:眼の機能	#瞬目機能残存 #眼球運動機能残存	・眼の機能向上または維持
AMSD以外の観察や評価5:その他の機能	#括約筋機能残存	・括約筋機能の向上または維持

2) 活動面に対する短期目標例

機能の肯定面(3:ほぼ残存 2:かなり残存 1:ある程度残存)	活動の肯定面(3:ほぼ残存 2:かなり残存 1:ある程度残存)	短期目標例
---------------------------------	---------------------------------	-------

#呼吸機能残存	#発声のための呼気生成可能	・声量の増大(最大 20phon 以上等)
#発声機能残存	#発声可能	・嗚声の軽減(G2R0B2A0S0 等) ・発話可能(北風と太陽の音読 1 モーラ/秒以上等) ・単語レベルでの発話明瞭度向上または維持(30/50 単語以上わかる等) ・文節で区切って話せる
#鼻咽腔閉鎖機能残存	#口腔音生成可能	・開鼻声の軽減(300Hz 付近の雑音の低下等)
#舌運動残存	#舌音生成可能	・正常な構音の増加 30/50 単語わかる等
#口唇運動残存	#両唇音生成可能 #口唇閉鎖機能	・正常な構音の増加 30/50 単語わかる等
#下顎運動残存	#閉口可能	・正常な構音の増加 30/50 単語わかる等
総合的な残存機能(記述しない)	#話題を知っていれば会話が分かる #わずかでも分かる会話がある #伝えたいことがあるのがわかる	発話明瞭度の向上または維持(2.5/5 等) 発話速度の向上または維持(1.0 モーラ/秒以上等) 発話明瞭度の向上または維持(3/5)と AAC の導入・習熟 AAC の導入・習熟
#両上肢あるいは片側上肢機能残存 #両下肢あるいは片側上肢機能残存	#物品操作可能 #ポインティング可能 #スイッチ操作可能 #Yes-No 反応可能	AAC の導入・習熟
#頭部の上下運動機能残存 #頭部の左右運動機能残存	#スイッチ操作可能 #Yes-No 反応可能	AAC の導入・習熟
#表情筋運動機能残存 #前頭筋機能残存 #皺眉筋機能残存	#スイッチ操作可能 #Yes-No 反応可能	AAC の導入・習熟
#瞬目機能残存 #眼球運動機能残存	#スイッチ操作可能 #Yes-No 反応可能	AAC の導入・習熟
#括約筋機能残存	#スイッチ操作可能 #Yes-No 反応可能	AAC の導入・習熟

3.治療手技の具体例

①機能面に対するアプローチ

0でない項目	機能の肯定面(3:ほぼ残存 2:かなり残存 1:ある程度残存)	治療手技例
呼吸数・最長呼気持続時間・呼気圧持続時間	#呼吸機能残存	呼吸機能訓練 1 姿勢調整 2 脊柱・胸郭の関節可動域拡大訓練 3 呼吸筋力増強訓練 4 発話パターン改善訓練
最長発声持続時間・/a/の交互反復	#発声機能残存	発声機能訓練 1 声帯内転訓練(プッシング・プリング法) 2 バイオフィードバック法 3 腹式発声訓練 4 姿勢の調節 ・詳細は別紙
/a/発声時の視診・ブローイング時の鼻漏出・/a/発声時の鼻漏出	#鼻咽腔閉鎖機能残存	鼻咽腔閉鎖機能訓練 1 アイシングと軟口蓋の随意的収縮法 2 バイオフィードバック法
舌の突出・舌の左右移動・前舌の挙上・奥舌の挙上・舌の突出後退・舌の左右移	#舌運動残存	舌の機能的訓練

動(交互反復)・/ta/の交互反復・/ka/の交互反復・舌の突出(筋力)・舌面の挙上(筋力)		1 舌の運動訓練 2 姿勢の調節による舌運動活性
口唇の閉鎖・口唇を引く・口唇の突出・口唇の閉鎖(筋力)	# 口唇運動残存	顔面下部の機能的訓練 1 CIセラピー 2 アイシング 3 温熱療法 4 電気刺激 5 筋緊張抑制手技 6 抵抗運動課題
下顎の下制・下顎の挙上・下顎の下制(筋力)・下顎の挙上(筋力) - 保持されやすい	# 下顎運動残存	下顎の機能的訓練 1 関節可動域訓練 2 抵抗運動による筋力増強訓練
総合的な残存機能(記述しない)	# 話題を知っていれば会話が分かる # わずかでも分かる会話がある # 伝えたいことがあるのがわかる	姿勢調節による反射抑制 パワーリハビリテーション 発話課題での視覚的刺激と並行した交互反復運動訓練 訓練施行しない
AMSD 以外の観察や評価	発声発語器官以外の残存機能	他職種が施行

②活動面に対するアプローチ

機能の肯定面(3:ほぼ残存 2:かなり残存 1:ある程度残存)	活動の肯定面(3:ほぼ残存 2:かなり残存 1:ある程度残存)	治療手技例
# 呼吸機能残存	# 発声のための呼気生成可能 # スイッチ操作可能	補装的アプローチ ・腹帯の活用 呼気スイッチを利用した AAC 呼気を Yes-No 反応にした AAC
# 発声機能残存	# 発声可能 # 聞き取れる程度の声が出せる # Yes-No 反応可能 # スイッチ操作可能	拡声器の活用 電気式人工喉頭の活用 アクセントの調節訓練 有声・無声の調節訓練 ・詳細は別紙 音声スイッチを利用した AAC 発声を Yes-No 反応にした AAC
# 鼻咽腔閉鎖機能残存	# 口腔音生成可能	補装的アプローチ ・軟口蓋挙上装置の利用
# 舌運動機能残存	# 舌音生成可能 # スイッチ操作可能	補装的アプローチ ・舌接触補助床の利用 舌でスイッチ操作する AAC 舌運動を Yes-No 反応にした AAC
# 口唇運動機能残存	# 両唇音生成可能 # 口唇閉鎖可能 # 物品操作可能 # スイッチ操作可能 # Yes-No 反応可能	補装的アプローチ ・顔面用スプリント 口唇でスイッチ操作する AAC 口唇閉鎖・開閉を Yes-No 反応にした AAC
# 下顎運動機能残存	# 閉口可能 # 物品操作可能 # スイッチ操作可能 # Yes-No 反応可能	補装的アプローチ ・チンキャップ 下顎でスイッチ操作する AAC 閉口・開口を Yes-No 反応にした AAC
総合的な残存機能(記述しない)	# 話題を知っていれば会話が分かる # わずかでも分かる会話がある # 伝えたいことがあるのがわかる	発話速度の調節法 1 ペーシングボード 2 タッピング法 3 モーラ指折り法 拡大・代替コミュニケーション
# 両上肢あるいは片側上肢機能残存 # 両下肢あるいは片側下肢機能残存	# 物品操作可能 # ポインティング可能	上肢を利用した発話速度低下訓練 ①ペーシングボード

	#スイッチ操作可能 #Yes-No 反応可能	②タッピング法 ③モーラ指折り法 上肢を利用した AAC ①上肢でポイントする文字盤 ②上肢でスイッチ操作する AAC ③上肢の運動を Yes-No 反応にした AAC 下肢を利用した発話速度低下訓練 ・タッピング法 下肢を利用した AAC ①下肢でポイントする文字盤 ②下肢でスイッチ操作する AAC ③下肢の運動を Yes-No 反応にした AAC
#頭部の上下運動機能残存 #頭部の左右運動機能残存	#スイッチ操作可能 #Yes-No 反応可能	頭部の運動を利用した AAC ①頭部でスイッチ操作する AAC ②頭部の運動(うなずきや首ふり)を Yes-No 反応にした AAC
#表情筋運動機能残存 #前頭筋機能残存 #皺眉筋機能残存	#スイッチ操作可能 #Yes-No 反応可能	表情筋の運動を利用した AAC ①表情筋の運動(額のしわ寄せや眉の動き)でスイッチ操作する AAC ②表情筋の運動を Yes-No 反応にした AAC
#瞬目機能残存 #眼球運動機能残存	#スイッチ操作可能 #Yes-No 反応可能	瞬目や眼球運動を利用した AAC ①瞬目や眼球運動でスイッチ操作する AAC ②瞬目や眼球運動を Yes-No 反応にした AAC
#括約筋機能残存	#スイッチ操作可能 #Yes-No 反応可能	括約筋の運動(肛門の開閉)を利用した AAC ①括約筋の運動でスイッチ操作する AAC ②括約筋の運動を Yes-No 反応にした AAC

③参加制約に対するアプローチ

参加制約	アプローチの例
・職業復帰困難・現職種の継続困難	環境因子への働きかけ ・職場への説明、協力の要請 ・周囲の AAC の習熟
・復学困難	環境因子への働きかけ ・学校・担任への説明、協力の要請 ・周囲の AAC の習熟
・地域社会での役割の継続困難	環境因子への働きかけ ・地域社会への説明、協力の要請 ・周囲の AAC の習熟
・コミュニケーションパートナーの制約	ニーズに合致した般化訓練 ・孫とのやりとりのロールプレイング 環境因子への働きかけ ・患者会の結成 ・家族会の結成 ・周囲の AAC の習熟

④個人因子に対するアプローチ例

個人因子	アプローチ例
1)否定面 ・コミュニケーションに対する自信喪失 ・発話恐怖、発話回避 ・コミュニケーション障害への恥の意識 ・AAC 使用に対する抵抗感	心理的アプローチ ・カウンセリング ・集団訓練による成功体験 ・家族と一緒に AAC 訓練
2)肯定面	ニーズに合致した般化訓練

<ul style="list-style-type: none"> ・強いコミュニケーション意欲 ・地域活動への意欲 ・正月までに家に帰りたいという希望 ・仕事を続けたいという希望 	<ul style="list-style-type: none"> ・大勢の前でのコミュニケーション体験 ・孫とのやりとりのロールプレイング ・職業に合ったコミュニケーション手段の選択
---	--

⑤環境因子に対するアプローチ例

環境因子	アプローチ例
1)否定面 <ul style="list-style-type: none"> ・家族の本人の発話へのいらだち ・周囲の障害への無理解 ・部下や同僚との不仲 	説明と教育 <ul style="list-style-type: none"> ・家族に対しての説明と教育 ・スタッフに対しての説明と教育 ・職場に対しての説明と教育 ・周囲の AAC の習熟
2)肯定面 <ul style="list-style-type: none"> ・家族の積極的な協力 ・家族の本人との強いコミュニケーション意欲 ・パソコンの使用可能な環境 	肯定面を利用したアプローチ <ul style="list-style-type: none"> ・家族と共同の訓練 ・家族との筆談 ・パソコンを利用した訓練 ・パソコンを利用した AAC